

委員会活動報告

「見たこと・聞いたこと、そして考えたこと」

総務常任委員会

「つばめ若者会議」の活動

令和7年11月6日(木) 新潟県燕市

視察概要 燕市における「つばめ若者会議」の沿革、目的、特徴、事業の成果

所感 事業が10年以上継続し、累計303人もの若者が参画している「つばめ若者会議」は、燕市にとって大きな財産であると感じた。当市においても、人材の育成につながる本件のような事業展開を期待したい。



生成AIの活用等による行政DX

令和7年11月7日(金) 新潟県長岡市

視察概要 長岡市のイノベーション・DXの歩み、AI活用の基本方針、段階的アプローチ、職員のAIリテラシー向上

所感 生成AI活用の具体例を知ることができた。相談業務でのAI活用の効果として、記録作成に係る職員の負担軽減が、市民サービスの向上につながっている。当市でも、AI活用の研究、導入の必要性を実感した。



文教厚生常任委員会

新たな介護予防の取組

令和7年10月27日(月) 愛知県豊田市

視察概要 ソーシャル・インパクト・ボンド(民間活力を生かして社会的課題の解決を図る仕組み)による介護予防事業の実態

所感 介護費の増大という課題を抱える中で、官民連携による介護予防は、地域経済の活性化等に寄与する。一方、実証実験に当たり専門部署の存在が重要であり、地域特性に合った対応が求められると思われる。

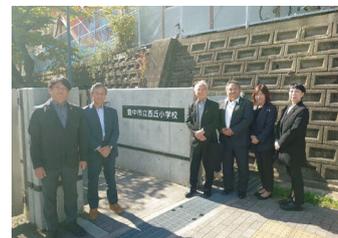


インクルーシブ教育と医療的ケア児への支援

令和7年10月28日(火) 大阪府豊中市

視察概要 インクルーシブ教育(医療的ケア児、障がい児、健常児がともに学ぶ、分けない教育)が50年続いている理由

所感 人権を尊重し守ることを明確に定めた教育基本方針を50年前に制定し、誰もがともに学ぶ、分けない教育が続いている。豊中市全体の子どもも、教師も、保護者も、分けない教育を当然と考えていることに感銘した。



産業建設常任委員会

駅周辺広場のにぎわい創出

令和7年10月20日(月) 静岡県静岡市

視察概要 静岡市における都市再生推進法人「草薙カルテッド」によるJR草薙駅周辺広場でのにぎわい創出の取組手法

所感 草薙カルテッドの取組から、住民本位かつ若い世代の声も踏まえた「協働するエリアマネジメント」の必要性を感じた。商業、文化、防災、地域連携などの複合型運用を目指すことが定住促進に寄与すると考える。



ホテルの誘致

令和7年10月21日(火) 愛知県知多市

視察概要 知多市の朝倉駅周辺整備事業に含まれるホテル誘致のプロセスと市民への説明、誘致効果

所感 当市は、工業団地のビジネス利用やさいたま市等の利用客も見込めるため、ホテル誘致を検討する余地は十分あると考える。用途地域の変更には県との協議なども必要だが、挑戦する価値があると捉えている。

